

# C4北病棟

C4北病棟は整形外科と消化器内科を中心とした病棟です。整形外科と聞くと、事故やケガによる骨折治療をイメージする方が多いかもしれませんが、それ以外にも、変形性関節症や脊椎疾患等の患者さんがおられます。当院は3次救急を担う急性期病院であるため、高エネルギー外傷や多発外傷の患者さんも多く、ICUや救命病棟から転床されて来られる患者さんも受け入れています。高齢者の転倒による大腿骨骨折患者さんをはじめ高齢患者さんも多く、急な入院による環境の変化や治療に伴う安静による認知機能低下予防や筋力低下予防など、高齢者のケアにも力を入れています。



整形外科では、ほとんどの患者さんがリハビリを必要としています。入院前の生活に戻れるように、また障害を負っても残存機能を最大限に活かし日常生活動作の拡大・自立を目指し、多職種と連携しリハビリ・退院支援に取り組んでいます。患者さんと共に回復の喜びを感じる毎日です。

一方で、消化器内科では内視鏡検や治療、化学療法を受ける患者さんがいます。終末期の患者さんもおられ、患者さん本人や御家族と何度も話し合い多職種でカンファレンスを行い、安心して最期を迎えられるようサポートしています。このように、様々な病期にある多様な患者さんが入院しておられるため、幅広い知識と看護力が求められます。



私たちは、いつでも患者さんに寄り添い、患者さんが住み慣れた地域でその人らしく過ごせるよう医師や多職種と協働し、安全な医療とあたたかい看護が提供できるよう日々研鑽を重ねています。